

おおまち

ボランティアニュース

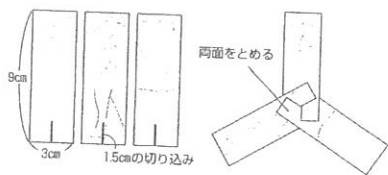
発行 大町市社会福祉協議会内
大町市ボランティアセンター
長野県大町市大町1129
(東町 総合福祉センター内)
TEL (0261) 22-1501
FAX (0261) 22-7071
URL <http://www.omachishakyo.org/>

楽しいレクリエーション <83> 牛乳パック フリスビー

牛乳パックでフリスビーを作り、
的に向かって投げ、得点を競います。

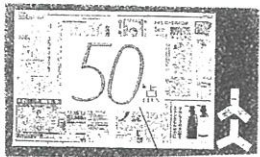
準備

開いた牛乳パック
から、図の寸法
で3枚の羽根を
切り出す。



3方向を向くように切り込み同士を組み、ガムテープでとめる。

的



新聞紙にコピー用紙を貼って得点を書く。

進め方

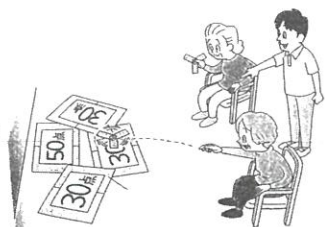
的に壁側に置く。

どの参加者からでも正面になるように置く。

参加者は、間隔をあけて半円形に座る。

的にから2m程離れて座る。

フリスビーを1人5回投げ、得点の高い人の勝ち。



季節到来

ひまわりの家 やきいも

ひまわりの家の冬の風物詩となった焼き芋。毎年、ご好評をいただいております。今年も11月より販売を行います。どうぞご利用ください。

- ・11月1日(日)…初売り市総合福祉センターで10時から
- ・11月2日(火)…大町市文化祭で
- ・11月5日(金)…市総合福祉センターで10時から

販売日は…毎週火曜日と金曜日

時間は…午前10時から午後3時

場所は…市総合福祉センター エントランスホール

値段は…100円・100円 1本200円くらいから

・注文や配達も承ります。

お気軽にお電話ください。

ひまわりの家 TEL 22-4956

Fax 22-4958

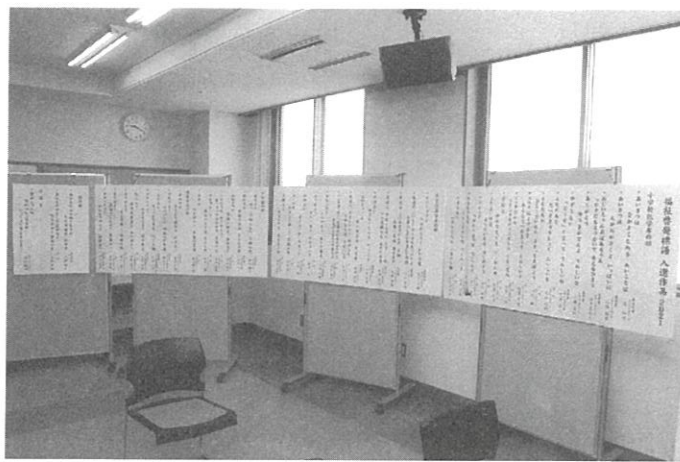
お互いさまのまちづくり

支え・支えられ

福祉啓発標語募集

『ふくしのまちづくり』を啓発する標語を募集します。

大町市社協では、「誰もが安心して暮らし続けることができる地域づくりを進めています。誰もが尊重され、自分らしく生活でき、安心して暮らし続けることができる地域をつくることを求められています。そこで、市民一人ひとりが、思いやりを持って「ふだんのくらしにせあわせ」を感じられる地域づくりを目指す標語を募集します。



表彰式の会場で発表

募集部門・応募方法・締め切り等は、次のとおりです。

題材は、福祉に関するものであれば、自由です。

例えは…

- ・ボランティア活動をして
- ・地域や施設で交流して
- ・地域行事に参加して
- ・福祉体験をしてみて
- ・災害支援や募金をして
- ・未来の福祉 など

募集部門

- ・小学校低学年の部
- ・小学校高学年の部
- ・中学校の部
- ・高等学校の部
- ・一般の部

応募方法

- ・作品は、一人一点

・小・中・高校生は、担任の先生を通して応募してください。

・一般の方は、住所・氏名・連絡先を明記し、郵送かFax等で応募してください。

締め切り 12月24日(金)

表彰と発表

- ・各部門の最優秀賞・優秀賞・佳作の作品には、賞状と記念品を贈ります。また、応募された方には、参加賞をお贈りします。
- ・入選作品の発表と表彰は、「大町市社会福祉大会」で行います。
- ・入選作品は、社協事業で活用します。

応募・問い合わせ

大町市社会福祉協議会

〒398-0002 大町市大町1129

TEL 有線 22-1501 / Fax 22-7071

サマーチャレンジ ボランティア活動

コロナ禍でボランティア活動が制限される中、7月から8月の間、活動の充電になるよう様々な福祉体験や物作りボランティア体験、市内福祉施設の屋外ボランティア活動を計画しました。参加いただいた活動を紹介します。

*新聞紙ごみ袋作り

参加者1人。新聞紙で作り方を覚えていただき、その後も作っていただいています。作っていたごみ袋は、病院や福祉施設で活用いただいています。

*草取りボラ

賛助会大町グループのみなさん11人で、7月30日に養護老人ホーム鹿島荘と8月11日ニクイアセン

ターにおおまちに行っていたきました。暑い時期で早朝よりの活動でした。参加者からは、「屋外でしたが、福祉施設で活動できてよかった。早く交流ができるようになった。ばいばいすね」と感想がありました。

報告

大北ブロック ボランティア地域活動フォーラム

10月4日(月)大北5市町村をオンラインでつないで開催しました。市総合福祉センターを会場に、11人の参加をいただきました。

いて、「平時を楽しみ有事に備える」と題して、小布施町浄光寺副住職で日本笑顔プロジェクト代表の林映寿さんの講演をお聞きしました。林さんは、過日土石流災害があった茅野市の災害現場で重機を使った復興支援にあたっていて、講演は茅野市社協から行っていただきました。現在の復興支援ボラを通じて、今同時多発的に自然災害が起こっている、これから公助では限りがあるので、自分たちの地域は自分で守る。民間だからこその寄り添う支援。復旧や復興はきれいにするだけでなく、はなしと実体験を交えたお話し。そして「笑顔」には力があり、免疫力を高め健康でいられる。そうすると地域が元気になる。またボランティア活動は、できる人ができることをできる時にすることが、無理なく継続できるコツと話され、更に自助を

高めるために災害支援とアミューズメントを合わせたnovo(ノボ)プロジェクトを作り、重機ボランティアの育成に力を入れていきたいので、みなさん是非重機女子になってほしいと結ばれました。



一緒にエアゴム体操

オンラインでの講演でしたが、参加者からは「質問に、赤と青の色紙で答えて、ただ聞くだけでなく参加した感じがった」との感想がありました。

使ってみませんか

へちま化粧水

常盤上一のボランティアグループ「ゆずり葉の会」は、27~28年前から自分たちでへちまを育てへちま化粧水を作っています。始めは、地区の希望する高齢者に配っていましたが、予想以上に作ることができ知人や友人に輪が広がり、今では多くのみなさんにご愛用いただいています。この化粧水は、協力いただいている薬局の指導で、化粧品として必要最低限の薬品のみで作っています。

1本260cc入りで500円の協力金でお求めいただけます。協力金は、ゆずり葉の会のボランティア活動資金として使用します。

今年もへちま化粧水ができました。お求めは、市総合福祉センター内 市社協ボランティアセンターまで。



へちま化粧水

手編み作品

展示会と販売会

新しい編物サークルは、月2回市総合福祉センターで活動しています。新しい編物に挑戦する傍ら、社協に寄付された毛糸を使って、帽子やくつ下カバー、マフラーなどを作っています。

会員の作った作品展を、12月7日(火)から20日(月)の間 市総合福祉センターエントランスホールで行います。また同時に作品の販売会を行います。販売会での収益は、会の活動で使用するほか社協に寄付する予定です。どうぞ、お出かけください。



昨年、展示会

「大北笑顔プロジェクト」

フェイスブック開設

Facebook

大北地域のボランティア団体等の活動を、SNSで発信することでコロナ禍でも身近な地域活動を知っていただき、笑顔の輪を広げていきたいと計画しました。投稿期間は、10月から12月の間。そこで、活動を紹介してほしい団体を募集します。職員が取材に伺います。是非ご連絡ください。

連絡先

大町市社協 TEL 有線 22-1501

出前講座 感染予防 PLAY!

活動に関わるみんなて話し合う場を作りませんか。コロナ感染予防の正しい知識を学び、安心して活動を行うために、誰かではなく、一人ひとりが感染症対策を考え実践につなげます。三人寄れば文殊の知恵。いいアイデアが生まれるかも。相談は、大町市ボランティアセンターまで。TEL 有線 22-1501